

取組概要

佐伯南中学校では、「持続可能な『未来の創造』に向け、自ら考え、仲間と学びながら自己実現をめざす生徒の育成」を目指し、佐伯南中校区「未来創造」の教育目標を踏まえつつ生徒の実態等に応じて各指標を設定し、組織的な取組を進めている。

工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
- ◆ 令和4年度末の第3回佐伯南中学校区学校運営協議会における熟議「南中校区の子どもに付けさせたい力について」を踏まえ、学校として育成を目指す資質・能力を設定している。
 - ◆ 教科部会・学年会にて若手教員とベテラン教員のバディ体制を構築し、教科指導・生徒指導等の情報共有や指導助言を日常的に行っている。

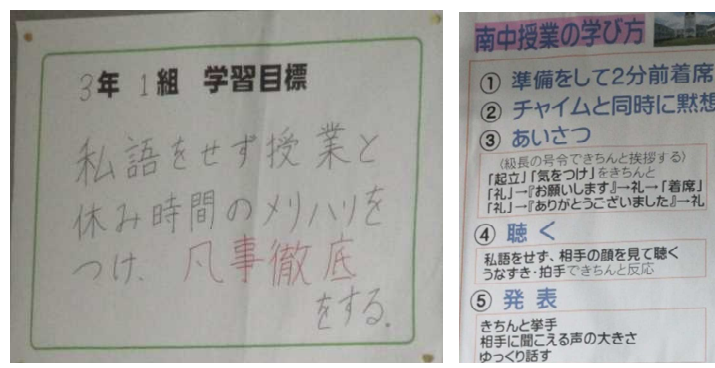
働き方改革の工夫

- ◆ 各種委員会を日課表に含めて定例化し、時間外の会議を削減している
- ◆ 会議資料はペーパーレス化し印刷等に係る時間の削減につなげている

授業づくりの工夫



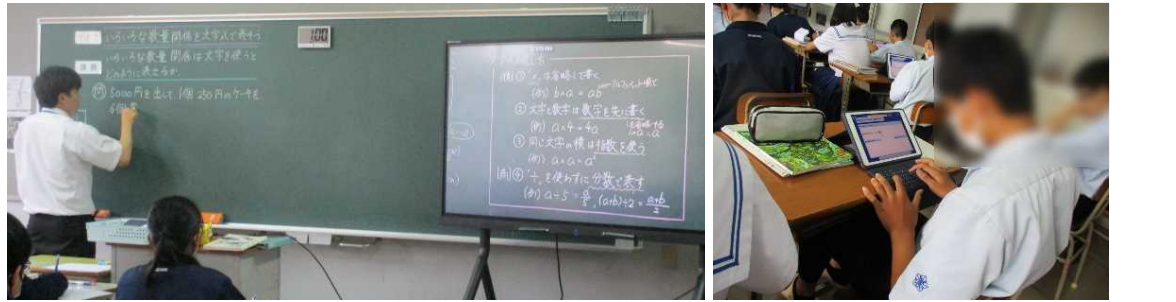
学びに向かう体制づくり～学習目標の設定等～



生徒会が主体となって学習目標を設定し、定期的に振り返り、目標の更新につなげる

ICTの活用

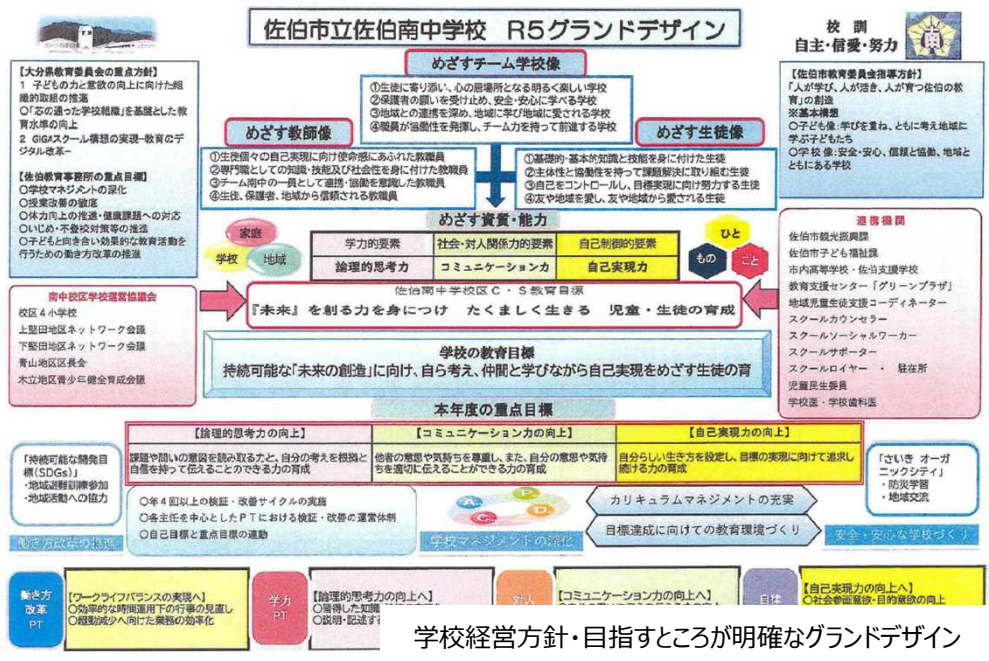
学びのポイント（前時の板書）を示したり、学習の振り返りをロイロノートに記載して提出・蓄積したりしている



対話的な学び



課題の解決に向けて、どの学年においても対話的な学びを展開



学校経営方針・目指すところが明確なGrand Design